

誰のための脱デフレ

所得が低い家庭の大学進学者で五段階成績三・五以上の人が借りることができた無利子奨学金を、成績基準を撤廃して誰でも借りられるように変えた。来年度から月額三万円以上。働き方改革と同根のリベラリズムに基づく安倍総理の改革である。「悪平等民主主義」社会がさらに進む。

みんな平等の社会主義政策だ

政府主導の「働き方改革」の推進には胡散臭いものを感じる。「同一労働・同一賃金の導入」という案を聞いた時にバツと頭に浮かんだのは旧ソビエト社会主義共和国連邦の経済政策だった。農民の自営は認められず、全員

農業者、コルホーズという集団農場に所属させられ共同で仕事をし、収穫に応じて全員に一定賃金を支払われた。有能無能の差なく、勤勉怠惰の差なく、困難な仕事に携わる人と楽な仕事につく人の差もなく、一切平等。

こうした環境にいると人は低い方に流れる。有能な人は意欲をなくして力を出し惜しみる。農民だけでなく漁業林業に携わる人や工場労働者も労働の質量は問われず平等の賃金が支払われた。生産性は年々低下し、作られる物は粗悪になり、思いやりや奉仕といったサービス精神はどこにも見られなくなった。

仕事ができる人はいなくなり、率先して仕事を人もいなくなり、勤務時間中最低限の仕事をして決められた賃金を手にする人ばかりになった。向上心のない家畜同然の人ばかりの国になった。もしも一九八九年まで四十二年間も続いたアメリカとの「冷戦」がなかったら、社会主義国ソ連は

の徒競走で一等二等を廃止した小

学校の先生と同じ思想の持ち主で努力して上司に認められるレベルに成長する。だめな部下を覚醒させるために上司は冷酷を演技でなければならぬ。「みんないい子」はみんなをだめにする。「同一労働・同一賃金」は「みんないい子」政策である。

同一労働・同一賃金の本来の目的は賃上げである。賃上げの目的は生産性の向上、デフレ脱却である。この政策が具体化し実施されれば、働く人の労働意欲は減退する。会社も意味のない経費増で疲弊する。生産性は下がり政府の目算は外れる。やってみなくても結果は解っている。

国がムード（空気）に流されて突っ走るの危険である。国力衰減の暴挙になりかねない。

過労死は長時間労働が原因か

働き方改革のもう一つの目玉は「長時間労働の是正」である。労働時間が長ければ長いほど生産性は低くなる。生産性は国内総生産を労働量で割った数字である。日本の労働生産性はここ十年

「長時間労働の是正」である。労働時間が長ければ長いほど生産性は低くなる。生産性は国内総生産を労働量で割った数字である。日本の労働生産性はここ十年

の分使う。会社は好況を呈し値上げをする。値上げすれば消費者物価が上昇しデフレ脱却につながる。政府はこんなシナリオを描いて

経営管理講座 335 染谷和巳

けでオシマイである。残業や休日出勤が過重で過労死や過労自殺が増え、現在社会問題になっている。この問題を解決するために「長時間労働の是正」をするなら理解できる。しかし月間の残業時間の上限を法で定めて罰則を設けても過労死、過労自殺の数は減らない。うつ病などの精神疾患で過労自殺する人は三十代が多く、心臓や脳疾患で過労死する人は五十代に多いのだが、原因は労働時間の長さだけではないと思う。仕事の種類と質も大きい原因ではないだろうか。

好きな仕事あるいは少なくともイヤではない仕事なら時間は重要な原因にはならない。イヤな仕事やイヤな上司先輩と長時間つき合い

日本人のためにならない改革

現在日本はデフレだと言いつつ、これを脱却することが急務だと言いつつ、このデフレで誰が困っているのか、誰が不幸なのか。デフレを脱却すると誰が幸福になるのか。収入は増えないが食料品などの物価が安定して暮らしやすい世の中である。給料が上がってもそれ以上に物価が上がると、今のままのほうがいい。これが日本人の普通の考え方だろう。

一億二千万人が飢えることなく食って平穏に生活できているのがすでに奇跡なのである。飽食暖衣の民の生命力がだんだん弱くなる、子を生み育てる力も衰え、少子化時代を迎え、人口が減り、労働力が縮小し、生産性が低下し、経済が停滞するのは歴史が教える事実である。

その自然の流れに逆らって、成長、向上、発展、拡大といった華々しい言葉を掲げ続け、政治の力で打開しようとはかるのは無謀である。もう一度聞く。誰のための脱デ